

フィリピン Pangasinan 州 Sisyra 村とフィリピン人「エンターテイナー」達

1. Sisyra 村の社会構造

- 地理：マニラから北へバスで 4~5 時間
- 農村：農業＝動物による耕作、人による田植え、台風と洪水；非農業職業（公務員、商業—コンビニ、トライシクル運転手、）
- 所得分布（478 所帯）：最高年収＝P160 万[U\$60,000]（ハワイ労働者年金）；P40 万[U\$15,000]（スペイン家事労働者）；P30 万[U\$11,000]（サウジアラビア官僚）；P20 万[U\$7,400]（「娘がエンターテイナー」）～最低年収＝P5,000-10,000[U\$185~U\$370]（農業労働者、建設・塗装労働者、傘修理、洗濯屋、寡婦）→少なくとも 100 万円以上～5 万円以下の幅
- 社会階層分布、職業
 - 常雇い非農業所得者階層：平均年収＝P75,000 (U\$2,800)；44%（内 17%OFW）；(学校教師、公務員、元軍人・ハワイ労働者年金生活者、自動車運転手、中東労働者、中東技術者、東南アジア家事労働者、ヨーロッパ家事労働者、)
 - 小規模土地所有者階層：平均年収＝P30,000 (U\$1,100)；7%；(自作農、小規模地主)
 - 小作農階層：平均年収＝P22,000 (U\$810)；20%；
 - 土地なし労働者階層：P20,000 (U\$740)；30%；(農業労働、日雇い工事、手工芸品製作、塗装工、配管工、トライシクル運転手、野菜売り、アイスクリーム売り、)
- 海外出稼ぎの伝統：20 世紀初頭~1960 年代：ハワイ・グアムでの農場労働者（中国・日本人の後）→1970 年代からの出稼ぎ：ヨーロッパ（看護婦・家政婦）、中東（建設労働者及び技術者、後に家政婦、掃除人）、香港・マレーシア・シンガポール（家政婦）；割合（2~3 割）；男女比（6~7 割女性）；

2. フィリピン人「エンターテイナー」という職業

- 「じゃばゆきさん」（1970 年代以降；韓国・台湾・タイ・フィリピン；日本人相手；ホステス+売春婦）と「からゆきさん」（明治時代~1920 年代；九州(天草・島原)；東南アジアの日本人相手；売春婦)
- ビザあり（期限 6 ヶ月）・ビザなし（30%）
- 日本に来るまで：リクルーター；歌・踊りのレッスン・テスト→一ヶ月給料前貸し（衣装代）・航空賃前貸し、残り 4 か月分給料は帰国後支払い（通常の OFW: P 2000~P 10,000 前払い）
- 日本で：接客業（言葉の上達）；月給＝U S \$350~1000；勤務条件（アパート・米支給；午後 6 時から午前 2 時；休み＝月 2~3 日）；食費（週 5000 円）+バック（客の飲食費の一定割合）+チップ（一日 1000~5000 円？）→家族へ送金
- 6 ヶ月サイクル：6 ヶ月日本、6 ヶ月フィリピン（マニラ+家でぶらぶら）

3. Sisyra 村の「エンターテイナー」達：なぜ来る？ 稼いだ金はどこへいく？

- 10 人の「エンターテイナー」達の全体像
 1. 全般的共通点：ほとんどが「出稼ぎ成功例」（自律的意思決定（騙されていない）；合法入国・繰り返し来日；大きな収入）；売春の不在
 2. 家庭の社会経済的ポジション：殆どが村の中の比較的下層階級（主に小作農家）出身。父親は高校卒程度、母親は小学校卒程度。ただし、最下層出身者はいない。中流家庭出身者は父親が 40-50 歳前後に病死。
 3. 本人の来日以前の経歴：①比較的低学歴（半数は高校中退；大学卒業者なし）→但し、これは「エンターテイナー」全般に当てはまるわけではない；②マニラ等での勤務経験あり（店の売り子など。水商売経験なし）；③年下の兄弟姉妹が多い（平均約 8 人—5~13—の兄弟姉妹中、過半数が一又は二番目；兄弟姉妹を学校に送るという使

- 命) ; ④外見上の特徴 : 比較的色白、小柄、目がぱっちり。
4. 来日のきっかけ : 2 つのパターン—①友人に誘われて (6 件)、②一家の稼ぎ手の喪失 (4 件 : 父親の病死、父親の病気と借金、夫の失業、夫の蒸発)
 5. 親の態度 : 父親の強い反対 (2 件)、その他は、消極的反対 ; 殆どの場合、親元から離れた状況で意思決定。
 6. 実家への「送金」金額 : 初任給\$350 (月) ~\$1000 (1980 年代後半~1990 年代初頭) x 4 ヶ月分 = \$ 1400~\$4000→うち年間平均約\$3000 を実家に。 : ばらつき大。(収入の四分の一から 7 割まで)
 7. 日本での稼ぎの使い道 : 海外出稼ぎ収入の一般的使い道 : ①電気製品、②家の改築、③子供の学資、④事業資金 (よろずや、トライシクル、農機具) ←父親 (小作農) の年収の約 10 倍→村での所得順位 : 200~400 位前後→17~200 位前後 (具体例参照)
 8. 異性関係 : 10 人中 8 人は独身 (初回来日時 10 代後半-20 歳前後)、2 人は既婚。独身の 8 人中 1 人は日本人と結婚・定住、1 人は日本人の子供を (未婚) 出産、一人はフィリピン人の子供を (未婚) 出産、一人は日本人嫌いに、残りは特になし。但し、ほとんど全ての場合、言い寄る日本人はいる。
 9. 他の村人の反応・視線 : 「Japayuki」は有名 ; 複雑な視線→①好奇の目、蔑み、ねたみ、「親類の恥」②自己犠牲に対する評価。近所との摩擦 (けんか) はあり。
- 個別ストーリー :
 1. **Maria** (35 歳現役) : 父=小作農 ; 本人=14 人兄弟 6 人目。高校中退→マニラで売り子→17 歳で初来日 (1986 年)、月給 \$ 350→現在までに 10 回以上、月給\$1000 前後。3 回目の来日時に中年の客とできる、一時は「フィリピン妻」として「結婚」を約束。1994 年女兒を出産。2~3 年養育費送金、その後音信途絶える。本人は 1996 年に結婚。混血児は実家の両親が養育、現在 10 歳。彼女の稼ぎにより実家は : 宅地、2 階建て家屋新築、農機具購入。父親の年収の 10 倍以上 (40 万円 vs.4 万円)、所得順位は 500 世帯中 380 位→17 位。
 2. **Erlinda** (37 歳引退) : 父=中規模小作農 ; 本人=13 人兄弟 6 番目。高校卒業後マニラのおばのパン屋勤務→父親の病気 (喘息) 入院にともなう借金+弟の海外出稼ぎ詐欺被害→父親の大反対を押し切って 20 歳時に初来日 (1987 年)。初任給\$350。在日中父親死去。葬式費用かさむ。→翌年 2 回目の来日→同年代の日本人 (建築業) と知り合い結婚、引退。現在茨城県取手市在住。→その後も実家に送金継続 (1 月おきに約 3 万円)。所得順位 : 460 位→127 位。
 3. **Elisabeth** (34 歳引退) : 父=自小作農 ; 本人=6 人兄弟長女、大学中退 (ミスコン) →19 歳で初来日 (1989 年) →不法滞在フィリピン人と親しくなる、6 ヶ月の契約終了後不法滞在、(当時月給 20 万?) →妊娠により 1 年後に出頭・帰国→男児出産 (1991 年)、その後仕事に復帰。未完成の大きな家。現在も日本滞在中。日本でフィリピン人 (不法入国・不法滞在中) と同棲中。2 人でペンキ塗装業。
 4. **Christine** (32 歳、引退) : 父=小規模小作農 (0.5) ; 本人=5 人兄弟 1 番目、高校中退後マニラの叔母のもとへ (15 歳) →「友人に誘われて (TDL)」1987 年初来日 (15 歳)、初任給 \$ 350→その後約 7~8 年間に 6 回来日、1993 年時月給 \$ 950 : 父親の年収の 6 倍→父親から地主に金貸し (\$ 240) ; 家はそのまま ; 所得順位=275 位→200 位 ; 収入の行方=自分の服、家電製品 (カラオケ)、遊興?。
 5. **Julita & Virginia** (37 歳引退、33 歳現役) : 父=タクシー後お抱え運転手 (マニラ) ; 中流家庭?→心臓病にて急死 (42 歳)、土地売却 ; 本人=7 人兄弟姉妹の 2、5 番目 ;
4. 「じゃばゆきさん」をどうみるか : 性風俗産業の女? (買春目的の客) ; 本気になる日本人 ; 売春婦、犯罪外国人 (一般的日本人) ; 無知・性の商品化の犠牲者 (一部フェミニスト) ; 国辱? (フィリピン) ; 一家の大黒柱。